

2023年度 外国語学研究科中国言語文化専攻博士前期課程 教育課程表(2021年度入学者から適用)

	授 業 科 目	副 題	開 講 期	単 位		担 任 教 員	備 考
				講義	演習		
言語	中国語学研究Ⅰa	現代中国語の統語論研究	前学期	2	2	准教授 博士(文学) 加藤 宏 紀	
	中国語学研究Ⅰb		後学期	2	2	准教授 博士(文学) 加藤 宏 紀	
	中国語学研究Ⅱa	言語文化論の対照研究	前学期	2	2	教授 博士(文学) 彭 国 躍	
	中国語学研究Ⅱb		後学期	2	2	教授 博士(文学) 彭 国 躍	
	中国語学研究Ⅲa	現代中国語の文法論研究	前学期	2	2	教授 博士(言語文化学) 鈴木 慶 夏	
	中国語学研究Ⅲb		後学期	2	2	教授 博士(言語文化学) 鈴木 慶 夏	
	中国語学研究Ⅳa	認知言語学の理論と応用	前学期	2	2	准教授 博士(文学) 夏 海 燕	
	中国語学研究Ⅳb		後学期	2	2	准教授 博士(文学) 夏 海 燕	
歴史・文化	中国歴史研究Ⅰa	上海近代史と『良友』画報	前学期	2	2	教授 博士(学術) 孫 安 石	
	中国歴史研究Ⅰb		後学期	2	2	教授 博士(学術) 孫 安 石	
	中国歴史研究Ⅱa		前学期	2	2		【休講】
	中国歴史研究Ⅱb		後学期	2	2		【休講】
	中国文化研究Ⅰa	中国現代史の中の帰国華僑	前学期	2	2	教授 村 井 寛 志	
	中国文化研究Ⅰb		後学期	2	2	教授 村 井 寛 志	
	中国文化研究Ⅱa		前学期	2	2		【休講】
	中国文化研究Ⅱb		後学期	2	2		【休講】
中国文化研究Ⅲa	映像の中の記憶と身体	前学期	2	2	准教授 秋 山 珠 子		
中国文化研究Ⅲb		後学期	2	2	准教授 秋 山 珠 子		
関連科目	日本語学研究Ⅰa		前学期	2		教授 博士(文学) 駒 走 昭 二	
	日本語学研究Ⅰb		後学期	2		教授 博士(文学) 駒 走 昭 二	
	韓国文化研究Ⅰa		前学期	2			【休講】
	韓国文化研究Ⅰb		後学期	2			【休講】
	比較文化研究Ⅰ		前学期	2			【休講】
	比較文化研究Ⅱ		後学期	2			【休講】
	アカデミックライティングⅠ		前学期	2			【休講】
	アカデミックライティングⅡ		後学期	2			【休講】

指 導 教 授

学生は所属する専攻の科目のうちから演習の指導を受ける科目を選び、研究科委員長の承認を得て、その科目担任の教授によって研究全般の指導を受けるものとする。

この科目をその学生の専修科目と称し、担任教授を指導教授とする。指導教授は2名とすることができ、その場にはいずれか一方を主たる指導教授とする。

指導教授については次のとおりとする。

1. 指導教授は通常変更することはできない。変更の際は研究科委員会の承認を必要とする。
2. 研究科委員長が研究上、特に必要と認めた場合、従たる指導教授は各年度において異なってもよい。

従たる指導教授については、研究科委員長の承認を得て、届け出るものとする。

履修方法

指導教授の指導によって、

1. 修了に必要な単位数は、授業科目中、専修科目を含め講義2科目8単位以上とする。ただし、修業年限の短縮が認められた者は、授業科目中、専修科目を含め講義3科目12単位以上とする。
2. 専修科目の演習は必修とし、2年間にわたり8単位を修得しなければならない。ただし、修業年限の短縮が認められた者は、指導教授による演習を4単位修得することで足るものとする。

なお、主たる指導教授と従たる指導教授の指導を受ける場合は、研究科委員長の承認を得て、従たる指導教授の演習を4単位まで履修することができる。また、指導教授が研究上必要と認めた場合には、同一の講義科目を2年間にわたり8単位まで履修することができる。

3. 指導教授が研究上特に必要と認めるときは、他の研究科または学部の課程による単位を8単位以内履修することができる。また、他大学大学院（神奈川県内の大学院間の単位互換協定校）の授業科目を10単位まで履修することができる。
4. 上記3の修得単位は、8単位を上限として修了要件単位に算入することができる。

ただし、学部の課程による単位は修了要件単位に算入することができない。

5. 上記1・2の要件を満たした上、合計32単位以上を修得すること。ただし、修業年限の短縮が認められた者は、合計36単位以上を修得しなければならない。
6. 長期履修制度に関する所定の手続きに従い申請等を行うことにより、修了年限を3年または4年とすることができる。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年以上在学し、32単位以上を修得（修業年限の短縮が認められた者は、本研究科に1年以上在学し、36単位以上を修得）し、かつ、必要な研導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程第2年次以上（修業年限の短縮が認められた者は、博士前期課程第1年次以上）に在学し、所定の授業科目について20単位以上を取得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

2023年度 外国語学研究科中国言語文化専攻博士前期課程 教育課程表(2015年度から2020年度入学者に適用)

	授 業 科 目	副 題	開 講 期	単 位		担 任 教 員	備 考
				講義	演習		
言語	中国語学研究Ⅰa	現代中国語の統語論研究	前学期	2	2	准教授 博士(文学) 加藤 宏 紀	
	中国語学研究Ⅰb		後学期	2	2	准教授 博士(文学) 加藤 宏 紀	
	中国語学研究Ⅱa	言語文化論の対照研究	前学期	2	2	教授 博士(文学) 彭 国 躍	
	中国語学研究Ⅱb		後学期	2	2	教授 博士(文学) 彭 国 躍	
	中国語学研究Ⅲa	現代中国語の文法論研究	前学期	2	2	教授 博士(言語文化学) 鈴木 慶 夏	
	中国語学研究Ⅲb		後学期	2	2	教授 博士(言語文化学) 鈴木 慶 夏	
歴史・文化	中国歴史研究Ⅰa	上海近代史と『良友』画報	前学期	2	2	教授 博士(学術) 孫 安 石	
	中国歴史研究Ⅰb		後学期	2	2	教授 博士(学術) 孫 安 石	
	中国歴史研究Ⅱa		前学期	2	2		【休講】
	中国歴史研究Ⅱb		後学期	2	2		【休講】
	中国文化研究Ⅰa	中国現代史の中の帰国華僑	前学期	2	2	教授 村井 寛 志	
	中国文化研究Ⅰb		後学期	2	2	教授 村井 寛 志	
	中国文化研究Ⅱa		前学期	2	2		【休講】
	中国文化研究Ⅱb		後学期	2	2		【休講】
	中国文化研究Ⅲa	映像の中の記憶と身体	前学期	2	2	准教授 秋山 珠 子	
	中国文化研究Ⅲb		後学期	2	2	准教授 秋山 珠 子	
関連科目	日本語学研究Ⅰa		前学期	2		教授 博士(文学) 駒走 昭 二	
	日本語学研究Ⅰb		後学期	2		教授 博士(文学) 駒走 昭 二	
	韓国文化研究Ⅰa		前学期	2			【休講】
	韓国文化研究Ⅰb		後学期	2			【休講】
	比較文化研究Ⅰ		前学期	2			【休講】
	比較文化研究Ⅱ		後学期	2			【休講】
	アカデミックライティングⅠ		前学期	2			【休講】
	アカデミックライティングⅡ		後学期	2			【休講】

指 導 教 授

学生は所属する専攻の科目のうちから演習の指導を受ける科目を選び、研究科委員長の承認を得て、その科目担任の教授によって研究全般の指導を受けるものとする。

この科目をその学生の専修科目と称し、担任教授を指導教授とする。指導教授は2名とすることができ、その場にはいずれか一方を主たる指導教授とする。

指導教授については次のとおりとする。

1. 指導教授は通常変更することはできない。変更の際は研究科委員会の承認を必要とする。
2. 研究科委員長が研究上、特に必要と認めた場合、従たる指導教授は各年度において異なってもよい。

従たる指導教授については、研究科委員長の承認を得て、届け出るものとする。

履修方法

指導教授の指導によって、

1. 修了に必要な単位数は、授業科目中、専修科目を含め講義2科目8単位以上とする。ただし、修業年限の短縮が認められた者は、授業科目中、専修科目を含め講義3科目12単位以上とする。
2. 専修科目の演習は必修とし、2年間にわたり8単位を修得しなければならない。ただし、修業年限の短縮が認められた者は、指導教授による演習を4単位修得することで足るものとする。

なお、主たる指導教授と従たる指導教授の指導を受ける場合は、研究科委員長の承認を得て、従たる指導教授の演習を4単位まで履修することができる。また、指導教授が研究上必要と認めた場合には、同一の講義科目を2年間にわたり8単位まで履修することができる。

3. 指導教授が研究上特に必要と認めるときは、他の研究科または学部の課程による単位を8単位以内履修することができる。また、他大学大学院（神奈川県内の大学院間の単位互換協定校）の授業科目を10単位まで履修することができる。
4. 上記3の修得単位は、8単位を上限として修了要件単位に算入することができる。
5. 上記1・2の要件を満たした上、合計32単位以上を修得すること。ただし、修業年限の短縮が認められた者は、合計36単位以上を修得しなければならない。
6. 長期履修制度に関する所定の手続きに従い申請等を行うことにより、修了年限を3年または4年とすることができる。

修了要件

1. 博士前期課程の修了要件は、本研究科に2年以上在学し、32単位以上を修得（修業年限の短縮が認められた者は、本研究科に1年以上在学し、36単位以上を修得）し、かつ、必要な研導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 修士論文の審査を申請し得る者は、博士前期課程第2年次以上（修業年限の短縮が認められた者は、博士前期課程第1年次以上）に在学し、所定の授業科目について20単位以上を取得し、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

2023年度 外国語学研究科中国言語文化専攻博士後期課程 教育課程表(2021年度入学者から適用)

	授 業 科 目	開講期	副 題	単 位		担 任 教 員	備 考
				講義	演習		
言語	中国語学特殊研究 I a	前学期	現代中国語文法研究への文法理論の応用	2	2	准教授 博士(文学) 加藤 宏 紀	
	中国語学特殊研究 I b	後学期		2	2		
	中国語学特殊研究 II a	前学期	社会言語学の理論と応用	2	2	教授 博士(文学) 彭 国 躍	
	中国語学特殊研究 II b	後学期		2	2		
	中国語学特殊研究 III a	前学期	現代中国語文法論の多角的考察	2	2	教授 博士(言語文化学) 鈴木 慶 夏	
	中国語学特殊研究 III b	後学期		2	2		
	中国語学特殊研究 IV a	前学期	認知言語学研究の方法	2	2	准教授 博士(文学) 夏 海 燕	
	中国語学特殊研究 IV b	後学期		2	2		
歴史・文化	中国歴史特殊研究 I a	前学期	中国都市史および地方史研究	2	2	教授 博士(学術) 孫 安 石	
	中国歴史特殊研究 I b	後学期		2	2		
	中国歴史特殊研究 II a	前学期		2	2		【休講】
	中国歴史特殊研究 II b	後学期		2	2		【休講】
	中国文化特殊研究 I a	前学期	中国現代史における香港の役割の考察	2	2	教授 村 井 寛 志	
	中国文化特殊研究 I b	後学期		2	2		
	中国文化特殊研究 II a	前学期		2	2		【休講】
	中国文化特殊研究 II b	後学期		2	2		【休講】
中国文化特殊研究 III a	前学期	表象文化論	2	2	准教授 秋 山 珠 子		
中国文化特殊研究 III b	後学期		2	2			准教授 秋 山 珠 子

履 修 方 法

1. 学生は、自己の最も専門に研究しようとする授業科目を選び、その演習を担当する教授から、学位論文の作成、その他研究全般の指導を受けるものとする。
2. その授業科目をその学生の「専修科目」と称し、担任教授を「指導教授」という。
3. 学生は、専修科目（講義4単位、演習12単位）を含めて20単位以上修得しなければならない。

修 了 要 件

1. 博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 博士論文の審査を申請し得る者は、博士後期課程において、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。

2023年度外国語学研究科中国言語文化専攻博士後期課程 教育課程表(2011年度から2020年度入学者に適用)

	授 業 科 目	開講期	副 題	単 位		担 任 教 員	備 考
				講義	演習		
言語	中国語学特殊研究Ⅰa	前学期	現代中国語文法研究への文法理論の応用	2	2	准教授 博士(文学) 加藤 宏 紀	
	中国語学特殊研究Ⅰb	後学期		2	2		
	中国語学特殊研究Ⅱa	前学期	社会言語学の理論と応用	2	2	教授 博士(文学) 彭 国 躍	
	中国語学特殊研究Ⅱb	後学期		2	2		
	中国語学特殊研究Ⅲa	前学期	現代中国語文法論の多角的考察	2	2	教授 博士(言語文化学) 鈴木 慶 夏	
	中国語学特殊研究Ⅲb	後学期		2	2		
歴史・文化	中国歴史特殊研究Ⅰa	前学期	中国都市史および地方史研究	2	2	教授 博士(学術) 孫 安 石	
	中国歴史特殊研究Ⅰb	後学期		2	2		
	中国歴史特殊研究Ⅱa	前学期		2	2		【休講】
	中国歴史特殊研究Ⅱb	後学期		2	2		【休講】
	中国文化特殊研究Ⅰa	前学期	中国現代史における香港の役割の考察	2	2	教授 村 井 寛 志	
	中国文化特殊研究Ⅰb	後学期		2	2		
	中国文化特殊研究Ⅱa	前学期		2	2		【休講】
	中国文化特殊研究Ⅱb	後学期		2	2		【休講】
	中国文化特殊研究Ⅲa	前学期	表象文化論	2	2	准教授 秋 山 珠 子	
中国文化特殊研究Ⅲb	後学期	2		2	准教授 秋 山 珠 子		

履 修 方 法

1. 学生は、自己の最も専門に研究しようとする授業科目を選び、その演習を担当する教授から、学位論文の作成、その他研究全般の指導を受けるものとする。
2. その授業科目をその学生の「専修科目」と称し、担任教授を「指導教授」という。
3. 学生は、専修科目（講義4単位、演習12単位）を含めて20単位以上修得しなければならない。

修 了 要 件

1. 博士後期課程の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。
2. 博士論文の審査を申請し得る者は、博士後期課程において、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、本研究科の指定する方法により外国語の学力に関する認定に合格した者に限る。